

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第12号
令和3年1月6日発行

学校教育目標
「なかよく かしこく たくましく」

三つの約束
○あいさつ
○整理整頓
○時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
児2年生	42名	5年生	57名
童3年生	52名	6年生	60名
数		5組	6名
全校児童数			300名

初日の出に、子どもたちの安全を祈る 校長 仲田 智宏

明けましておめでとうございます。令和3年が皆様にとって、よいお年となることをお祈りいたします。例年にはない年末年始でしたが、それぞれのお正月を迎えたことと思います。私事ですが、校長として初めての正月でしたので、行動制限しながらも迎えた正月についてお伝えをして、新年のごあいさつとさせていただきます。

Go To トラベル事業が始まったころは、現在のような感染状態になるとは思いも寄らなかったため、私も旅行の予約を入れていました。新聞では旅館業や航空業界は、とても厳しいと報道されていましたので、経済の活性化を考え遠方への旅行を計画していました。しかし、季節が冬に近づくにつれ、感染拡大が報道されるようになりました。6年生が日光へ行った11月13日には、「皆でバスにのって楽しかったね。」と喜び合っていました。その後は、感染への懸念が報道され続けました。修学旅行の二週間後、私は予約していた旅行をキャンセルしました。自分が思い描いた神社やお寺さんでの中富小の安全祈願は、今年ができないことになりました。

「感染者最多」「不要不急の外出自粛」「静かな年末年始」などの言葉が、新聞紙面には毎日でした。そうした中、何とかして「新しい生活様式」での祈願の方法を考えました。私が選んだのは、初日の出を見て、そして初日に照らされる中富小を見ることでした。その時の様子をお伝えします。6時を過ぎ、人との接触を避けるために車で出かけました。ちょうど米軍所沢通信基地に来たところで、日の出を迎えました。きれいな光、まぶしいのだけれども温かく柔らかい光、これが令和3年の私の初日の感想です。この初日に「とにかく子どもが事

故に遭うことなく安全でありますように」と祈りました。車窓から周りの様子を見ると、日の出の時刻に合わせて散歩をする方々が結構おりました。通信基地は広く平らなので、日の出を見るのには身近な場所だったのです。所沢市に50年以上住んでいますが、日の出の時刻にこの場所へ来たのは初めてでした。

日の出を眺めて中富小へ向かいました。入口まで来て、これも初めて知ったのですが、八雲神社で初詣ができるのです。さっそく中富小に駐車をして、参拝させていただくことにしました。社の扉が開いていて、立派なお供え物がされていました。年始の行事に協力される地域の方々もいらっしゃいました。小声と短時間ですので、丁寧なあいさつができませんでした。参拝させていただきありがとうございました。八雲様には「子どもの命、子どもの人権、子どもの可能性(チャンスや夢)を守ってください」と祈願いたしました。

新年迎えて早々、一都三県の知事が緊急事態宣言を要請、政府も調整に入っているとの報道です。学校教育への制限がどの程度なのか、現段階では分かりませんが、皆様の力を結集して乗りきってまいりたいと思います。令和3年もどうぞよろしくお祈りいたします。

信頼される学校づくりを目指して part2

12月28日(月)に再び教職員不祥事防止研修を実施しました。今回は、働きやすい職場の維持向上について共通理解を図りました。また、薬物依存、アルコール依存、スマホ依存等々を例に、「自分をコントロールできるように、依存症について考える。」というテーマでグループ協議しました。事故防止のため、常に高い意識を持つことを続けてまいります。